

第7号

児童数 329名

(男185名女144名)



のぶっ子

【延方小スローガン】 3つのCで笑顔の延小
Chance・Challenge・Creation
 (チャンス・チャレンジ・クリエイション)

Tel :0299-66-2076
 Fax:0299-66-4692
 E-mail:nobukata-el@itako.ed.jp

子供たちの可能性をさらに拓くために

朝夕の気温が肌寒く感じるようになりました。つい先日までは、いつまでも暑さが続くと困っていましたが、一気に秋の深まりを感じます。また、体調管理が難しい日々が続いています。現在市内では、インフルエンザも流行しております。引き続きお子さんの体調管理にご協力願います。

さて話は変わりますが、アメリカンインディアンの子育て四訓をご存知でしょうか。

- 1. 乳児はしっかり肌を離すな。
- 2. 幼児は肌を離せ、手を離すな。
- 3. 少年は手を離せ、目を離すな。
- 4. 青年は目を離せ、心を離すな。



乳児期、幼児期、少年期、青年期のそれぞれの発達段階で、親(大人)がどの程度の距離感で接するのが理想的かを示したものです。小学生で言うと、少年期と青年期のアドバイスが参考になります。

【少年は手を離せ、目を離すな。】

小学校に入ると行動範囲も広がり、子供だけの世界ができ始めます。仲の良い友達ができたり、友達とトラブルになったりすることもあるでしょう。トラブルになっても子供たちは自分で対処しようとし始めます。だからこそ手を離すことが必要です。手をつかみ続けていると、過干渉になってしまい自立心が育たないことがあります。トラブルは大人が解決してくれるものと考えようになってしまう。ただ、少年期はまだまだ子供です。やることも考えることもまだ幼いものです。だからこそしっかりと目だけは離さないようにしていかなければなりません。子供の世界を尊重し、ほどよい距離感を保つことが大切です。

【青年は目を離せ、心を離すな。】

思春期の頃になると、子供が学校のことをあまり話さなくなることがあります。小さな頃と比べると、言うことを聞かなくなってくることもあるでしょう。つい干渉したり、口を出したくなったりしますが、それが逆効果になることもあります。(小言ばかり言われていると、何も聞かなくなります。)心配なこと多いものですが、あえて目を離し、自由にさせてあげることも大切です。青年期は大変なことや辛いことを乗り越えていくための力を養う時期です。しかし心は話さず、「いつもあなたの味方だよ。」というメッセージを送り続けることが大切です。何かあった時の子供の心のよりどころになります。

最後に、子供が自分で考えてやるべきことを、大人が代わりにやってしまったら、子供がいやな思いをしないように先回りして手を打ってしまったら、子供の成長と自立を妨げてしまうことになることもあります。言い換えれば、「今のあなたでは安心できない。」というメッセージを送っていることにもなりかねません。自分の考えをしっかりと持ち、自分の力で行動できる子供に育てるために、子供たちのもっている可能性をぜひ信じていただきたいと思います。

11月の主な行事

- 1日(水)小中合同マナーアップ運動・委員会活動
1年生校外学習(水郷県民の森)
- 2日(木)地域公開日(授業参観)・学校評議員会
- 3日(金)文化の日
- 8日(水)いじめ防止集会・クラブ活動
- 9日(木)1年生親子行事(出前授業)
- 13日(月)県民の日
- 14日(火)全校集会
- 15日(水)3年生校外学習(消防署見学)・全学年下校 14:25
- 16日(木)全学年下校 14:25
- 17日(金)芸術鑑賞会
- 20日(月)5年生校外学習(製鉄所見学)
- 22日(水)縦割り活動・全学年下校 14:25
- 23日(木)勤労感謝の日
- 29日(水)全学年下校 14:25
- 27日(月)校内持久走記録会(4・3年生)
- 29日(水)校内持久走記録会(2・5年生)
- 30日(木)校内持久走記録会(1・6年生)

お知らせ



『茨城県民の日について』

11月13日(月)の県民の日は、郷土の歴史を知り、自治の意識を高め、私たちのより豊かな生活と県の躍進を願う日として、1968(昭和43)年に、県の条例により定められました。1871(明治4)年11月13日に、初めて「茨城県」という県名が用いられたことにちなみ、11月13日を「県民の日」としています。

なお、この日は茨城県の公立学校は、休校日となっています。そのため、延方小学校も休校日となります。



10月の学校行事から(ベストショット)



運動会(10/14)



スーパー見学(10/20)



夢先生(10/24)